

平成26年 有害物質による急性中毒等発生状況(確定)

北海道労働局

発生年	発生月	時刻	業種	規模	災害の状況
1	26	1	19時台	設備工事業 10人未満	被災者ら6人は15時頃から屋内作業場内においてエンジン式溶接発電機を使用して溶接作業を行っていた。19時頃にうち3人が頭痛等を訴えたので作業を中止し事務所に戻った。症状が改善しない2人が病院で一酸化炭素中毒と診断されたもの。 エンジン式溶接発電機からの排ガスによるもの。 (一酸化炭素中毒・被災者2人・休業4日未満)
2	26	2	10時台	食料品製造業 10人未満	被災者ら8人は屋内作業場で二つのガスの釜でカニをゆでる作業中、うち7人がめまい等の体調不良で病院に収容され、全員が一酸化炭素中毒で入院したもの。 防寒のため屋内作業場の窓と出入口を閉め切り、離れた位置のシャッターは約30cm開けていたが、換気扇も覆い使用出来ない状態で長時間作業を行っていたことによる釜のガスの不完全燃焼によるもの。 (一酸化炭素中毒・被災者7人・休業4日以上)
3	26	2	13時台	社会福祉施設 10人以上 30人未満	被災者7人は指導員で就労支援サービス業務のパン作り指導業務に従事していた。 パン工房にてガスオーブンをを用いてパンを焼いていたところ、空調設備の配管の損傷によりパン工房内に漏れていた冷媒のフロンガスがガスオーブンの炎により熱分解し、発生した有害ガスによりパン工房内で作業中の7名全員が頭痛、発熱、咳などの症状を訴え、病院で受診し、「ガス中毒の疑い」と診断されたもの。 (ガス中毒・被災者7人・休業4日以上2人、休業4日未満1人、不休4人)
4	26	3	15時台	自動車整備業 30人以上 50人未満	被災者4人は9時頃から整備工場内において通用口、シャッター(全5基)を閉じた状態で暖房用ストーブを作動させて複数の車両の整備作業に従事していた。11時頃にうち2人が頭痛、めまい等の症状を感じたために、シャッターの1基を全開にして作業を継続した。 15時頃に4人全員が頭痛、めまい、動悸及び吐き気等の症状を強く感じ、事務所に訴え、病院で受診し、一酸化炭素中毒で4人全員が入院したもの。 整備車両のエンジンは、出入り以外は作動させていなかった。換気扇等の換気設備は、設置されていなかった。 ストーブは、自社で製作したもので廃エンジンオイルを燃焼させているもので煙突は屋外に接続しておらず、工場内に排煙が排出されていた。暖房用ストーブの排煙によるもの。 (一酸化炭素中毒・被災者4人・休業4日未満)
5	26	4	15時台	自動車・同付属品製造業 10人以上 30人未満	被災者は工場内において新車の用品取付け作業のため車両下部に横になって作業を行っていたところ、車両下部に塗装されていた防錆塗装(第3種有機溶剤含有)が乾ききっておらず、めまい、嘔吐、息苦しさの症状を訴え、有機溶剤中毒と診断され、入院したもの。 (有機溶剤中毒・被災者1人・休業4日以上)

平成26年 有害物質による急性中毒等発生状況(確定)

発生年	発生月	時刻	業種	規模	災害の状況
6	26	6	8時台	その他の建設業 10人以上 30人未満	被災者はパルプ製造工場の構内作業においてパルプ製造設備から、チップ(硫黄が付着したものを洗浄し1ヶ月堆積したものを)屋外にかき出す作業を行っていたところ、硫化水素ガスが発生し、そのガスを吸引し被災したもの。 作業開始前に硫化水素及び一酸化炭素について測定を行い、異常は認められなかったが、当該作業時に硫化水素が堆積したチップから発生したもの。呼吸用保護具は、未着用であった。 (硫化水素中毒・被災者1人・休業4日以上)
7	26	6	13時台	病院 100人以上 300人未満	被災者2人は病院の浴場等に使用する温泉供給設備で温泉と沈殿物を分けるタンク内において、沈殿物を除去する作業中に温泉及び沈殿物を攪拌したことによって温泉及び沈殿物に含まれていた硫化水素が放出され、硫化水素中毒により死亡したもの。 硫化水素の濃度測定は行っておらず、呼吸用保護具の着用も無かった。 被災者ら2人はボイラー設備の担当職員で帰宅しなかったことから翌日、病院内を捜索したところ、当該タンク内で発見されたもの。 (硫化水素中毒・被災者2人・死亡)
8	26	9	8時台	その他の土木工事 10人未満	被災者は屋外にて道路脇の雨水枡の清掃作業において雨水枡(内径幅60cm、奥行60cm、深さ1.8m、水深22cm)の中に入り、目皿と呼ばれる円形(直径約54cm)の金属製の格子が所定の位置から脱落していたため枡の中から取り出す作業を行っていたところ、意識がない状態で発見され、死亡したもの。 硫化水素中毒及び熱中症によるもの。 (硫化水素中毒、熱中症・被災者1人・死亡)
9	26	12	15時台	その他の事業 10人未満	被災者ら6人は建物内部の燻蒸作業後の開放作業で屋外で目張り外し作業等に従事していた。午後から被災者2人は屋内のガス濃度測定及び写真撮影を行った。作業後1人が体調不良を訴えて受診し、もう1人も受診し、2人とも「薬剤中毒」と診断され、入院したもの。 被災者2人は、電動ファン付きマスク(有機ガス用)を着用していた。(詳細調査中) (調査中・被災者2人・休業4日未満)

合計	発生件数	9件	内訳 一酸化炭素中毒 3件 13人(4日以上7人、4日未満6人) 硫化水素中毒 2件 3人(死亡2人、4日以上1人) 硫化水素中毒、熱中症 1件 1人(死亡1人) ガス中毒 1件 7人(4日以上2人、4日未満1人、不休4人) 有機溶剤中毒 1件 1人(4日以上1人) 調査中 1件 2人(4日未満2人)
	被災者数	27人	内訳 死亡 3人 休業20人(4日以上11人・4日未満9人) 不休 4人

2月末現在の 1、2、4、7、8、9の「時刻」または、「災害の状況」の字句の一部を修正している。